

理学研究科 応用物理学専攻

カリキュラム・ポリシー

修士課程においては、以下の方針で教育課程を編成する。

(1)「専門科目」では、高度な専門知識を身に付けるために必要な「基礎科目」、「総論科目」と専門分野に特化した「特論科目」を配置する。

(2)「一般教養科目」では、研究・開発に関わる人材として必要な基礎的知識、コミュニケーション能力、倫理観、および国際性を養う授業科目を配置する。学際的な広い視野および深い学識を培うために、様々な専門の他機関の専門家によるオムニバスの科目を配置する。

(3)「研究指導」では、研究能力を養うために必要な知識と経験を修得する。研究成果を会議等で発表することにより、客観的に評価し、表現する能力を身に付ける。指導教員の指導の下、2年間の研究成果を修士論文としてまとめることで、研究内容を分析・表現する能力を養う教育を行う。

